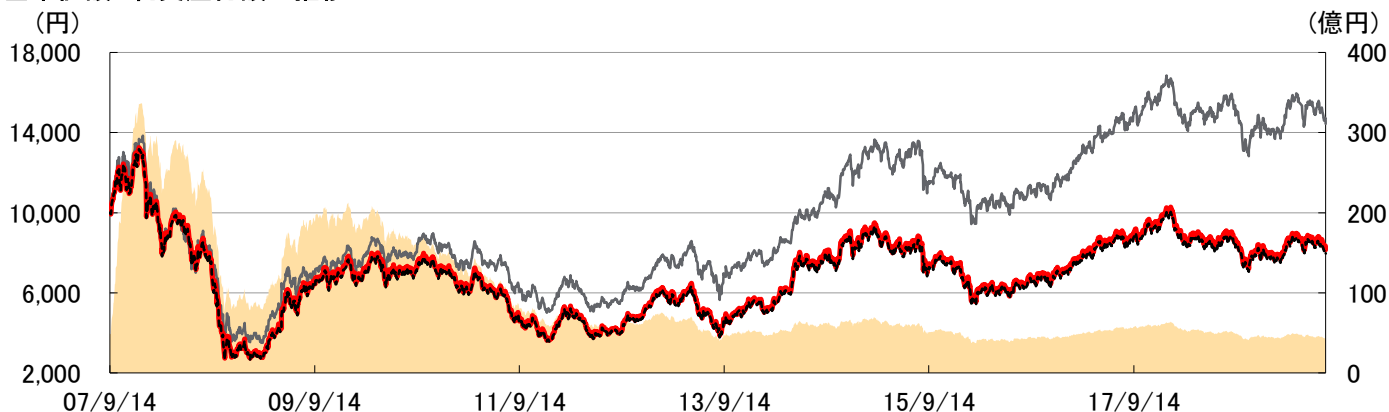


HSBC インド株式ファンド(3ヶ月決算型)

追加型投信/海外/株式

基準価額と純資産総額の推移



純資産総額(右軸) ———— ベンチマーク(左軸) ———— 分配金再投資基準価額(左軸) - - - - - 基準価額(左軸)

* 基準価額は信託報酬(税込年2.16%)控除後のものです。分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものです。将来の分配金は、運用状況によって変化します。ベンチマーク(S&P/IFC Investable India、円ベース)は、設定日を10,000として指数化しております。

商品概要

商品分類	追加型投信/海外/株式
設定日	2007年9月14日
信託期間	無期限
決算日	原則、3月、6月、9月、12月の各10日/年4回決算
信託報酬	税込年2.16%

期間別騰落率(税引前)

	ファンド	ベンチマーク
1ヶ月	-5.7%	-5.3%
3ヶ月	-6.7%	-7.1%
6ヶ月	6.2%	5.5%
1年	-8.5%	-7.3%
3年	24.5%	30.7%
設定来	-18.5%	44.4%

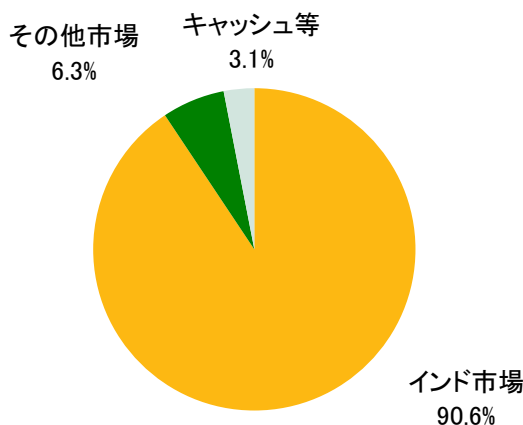
* 基準価額の騰落率は税引前分配金を再投資したものと計算しています。

基準価額等(2019年7月31日現在)

1万口当たり基準価額(円)	7,967
設定来高値(2007年12月27日)	13,171
設定来安値(2009年1月26日)	2,674
純資産総額(億円)	42.5

* 基準価額は信託報酬控除後のものです。

信託財産の構成(2019年7月31日現在)



* マザーファンドの組入比率です。その他市場には各銘柄のADR、GDR、オプション証券等を含みます。表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

税引前分配金の推移(1万口当たり)

決算期	分配金(円)
第36期(16年9月12日)	0
第37期(16年12月12日)	0
第38期(17年3月10日)	0
第39期(17年6月12日)	0
第40期(17年9月11日)	0
第41期(17年12月11日)	0
第42期(18年3月12日)	0
第43期(18年6月11日)	0
第44期(18年9月10日)	0
第45期(18年12月10日)	0
第46期(19年3月11日)	0
第47期(19年6月10日)	0
設定来累計	220

* 将来の分配金は運用状況によって変化します。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みの際は、「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

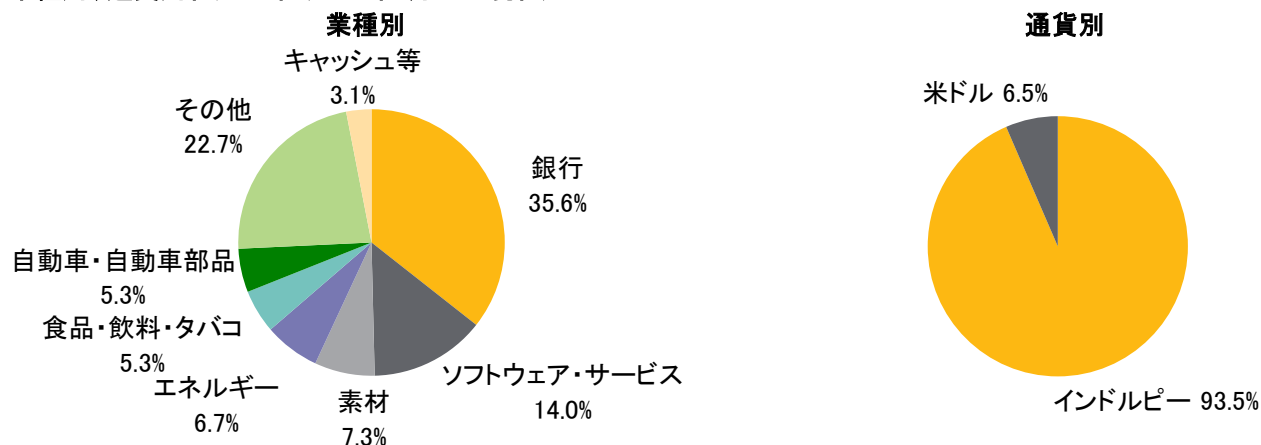


HSBC
Global Asset
Management

HSBC インド株式ファンド(3ヶ月決算型)

追加型投信/海外/株式

業種別、通貨別組入比率 (2019年7月31日現在)



* マザーファンドの組入比率です。表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。通貨別はキャッシュ等を除いた組入比率です。

<ご参考> SENSEX指数の推移(2016年7月末日~2019年7月30日)

月間騰落率: -5.5%

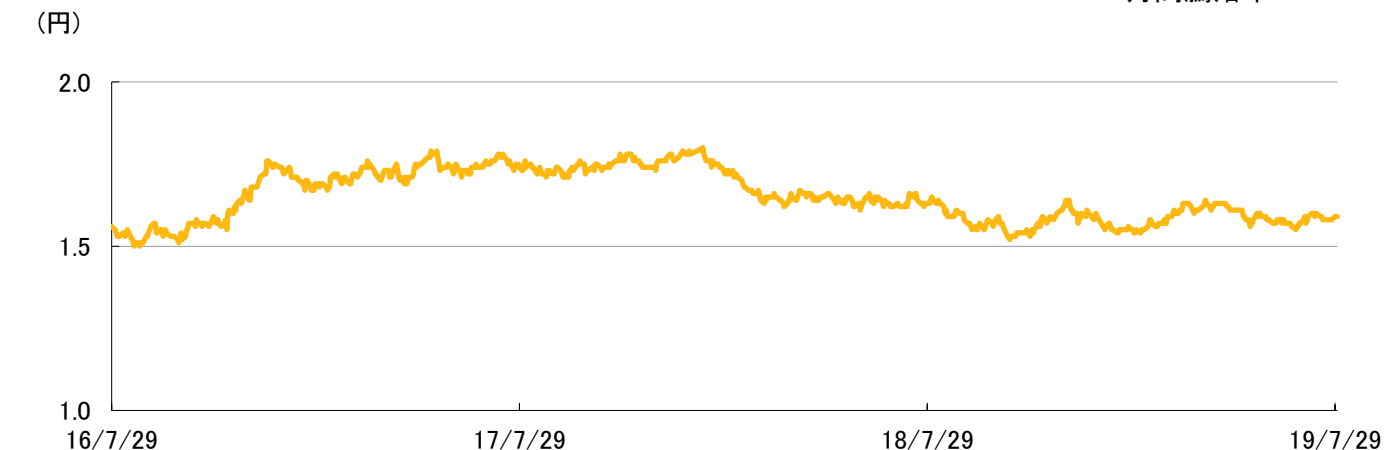


* 指数の月間騰落率は、原則として、基準日の前営業日の数値をもとに算出しています。

出所: リフィニティブ

<ご参考> 為替レート(インドルピー/円)の推移 (2016年7月末日~2019年7月末日)

月間騰落率: 1.3%



* 為替レートの月間騰落率は、原則として、基準日の数値をもとに算出しています。

出所: 投資信託協会

設定・運用: HSBC投信株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC インド株式ファンド(3ヶ月決算型)

追加型投信/海外/株式

組入上位銘柄と組入比率 (2019年7月31日現在)

順位	銘柄名		銘柄の概要
	業種	比率	
1	HDFC銀行		住宅ファイナンス会社のHDFCが設立した民間銀行。個人・法人向け商業銀行業務を行なう。
	銀行	9.7%	
2	インフォシス		ITサービス大手で、プログラム開発などのソフトウェアサービスやコンサルティングを提供。
	ソフトウェア・サービス	9.6%	
3	ICICI銀行		インドの大手民間銀行。個人・法人顧客に各種金融サービスを提供。
	銀行	6.8%	
4	アクシス銀行		法人・個人や農業分野を対象に銀行業務を展開する大手民間銀行。
	銀行	5.8%	
5	リライアンス・インダストリーズ		石油の開発・生産・精製、石油化学から小売り、携帯電話事業も展開する大手財閥リライアンスの中核企業。
	エネルギー	5.3%	
6	HDFC		住宅ファイナンス会社。グループ統括会社として、銀行、生命保険、投資信託などの子会社を保有。
	銀行	4.8%	
7	HCLテクノロジーズ		ITサービス大手。ITソリューションやエンジニアリング開発サービスなど各種ITサービスを世界各国で提供。
	ソフトウェア・サービス	4.4%	
8	ITC		タバコメーカーとして創業後、消費財、ホテル、板紙・特殊紙製造、アグリビジネスなどに事業を多角化。
	食品・飲料・タバコ	4.2%	
9	ラーセン・アンド・トウプロ		インドのみならず世界各地のインフラや石油開発事業などのプロジェクトを請負う建設エンジニアリング大手。
	資本財	3.7%	
10	インドステイト銀行		企業、公的機関向けおよび個人向けに幅広く金融サービスを提供する大手商業銀行。
	銀行	3.4%	

組入銘柄数

53

* マザーファンドの組入比率です。組入比率には、各銘柄のADR、GDR、オプション証券等を含みます。

* 銘柄名は、報道等の表記を参考にHSBC投信が翻訳しており、発行体の公式名称やその和文訳と異なる場合があります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC インド株式ファンド(3ヶ月決算型)

追加型投信/海外/株式

【市場動向】

当月のインド株式市場は、SENSEX指数が前月末比5.5%下落しました。米中貿易摩擦を巡る不透明感や世界経済の減速懸念、国内では景気指標の鈍化などがマイナス要因となりました。為替市場では、インドルピーは対米ドル、対円で強含みました。

当月に発表された景気指標では、マークイット・インド製造業購買担当者指数(PMI)が5月の52.7から6月は52.1へと低下し、鉱工業生産は4月の前年同月比+3.4%から5月は+3.1%へと伸び率が低下しました。インフレ指標は、消費者物価指数(CPI)が5月の前年同月比+3.1%から6月は+3.2%と僅かに上昇しましたが、引き続き中央銀行の目標レンジ(4%±2%)の中央値を下回っています。

第二次モディ政権(2024年までの5年間)は7月5日、2019年度予算案(2019年4月-2020年3月)を発表しました。2019年度の財政赤字の対国内総生産(GDP)比の目標値を3.3%に設定し、2月に発表した暫定予算で想定されていた3.4%から引き下げ、財政収支の改善を図る意向です。一方、同政権は、経済成長重視の姿勢も強く打ち出しており、向こう5年間で鉄道などのインフラ投資に総額100兆ルピー(約160兆円)を投じる方針を示しています。

【運用状況】

当月末の当ファンドの基準価額は前月末比5.7%下落しました。為替要因はプラスに寄与しましたが、組入銘柄の株価下落が基準価額を押し下げました。基準価額の騰落率はベンチマークを下回りました。上位組入銘柄では、オーバーウェイトにしていたソフトウェア・サービスのインフォシスなどの株価が上昇しベンチマークに対する相対パフォーマンスにプラスに寄与した一方、HDFC銀行、アクシス銀行などの株価が大きく下落しマイナス寄与となりました。

【今後の見通しおよび投資戦略】

インド準備銀行(中央銀行)は8月7日、政策金利のレポレートを0.35%引き下げ5.40%としました。利下げは4会合連続。政策スタンスは「緩和的」を維持しました。中央銀行は、景気重視の姿勢を一段と明確にしており、さらに追加利下げを行う可能性が高いと当社では見えています。

インド経済は着実に成長しており、インド政府が取り組んでいる構造改革の進展から、成長率はさらに上昇すると見られます。景気拡大に伴い企業収益も改善しています。4月~5月に行われた総選挙でモディ政権の続投が決まり、高成長・構造改革路線の継続が確認されました。インド株式市場を取り巻く環境は良好と考えられます。

マザーファンドの運用では、持続的な収益性を有しながらバリュエーションに割安感がある銘柄を選別しています。業種別には、金融をオーバーウェイトとし、エネルギー、ヘルスケアなどをアンダーウェイトにしています。

原則として、指数の月間騰落率は基準日の前営業日の数値を、為替レートの月間騰落率は基準日の数値をもとに算出しています。

※ 将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みの際は、「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC インド株式ファンド(3ヶ月決算型)

追加型投信/海外/株式

当ファンドの特色

「HSBC インド マザーファンド」*1への投資を通じて、主にインド共和国*2の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

*1 以下、「マザーファンド」といいます。 *2 以下、「インド」といいます。

1. インドの株式等に投資します。

▶ マザーファンドへの投資を通じて、以下の株式等に投資します。

投資対象企業	<ul style="list-style-type: none"> ・インド国内の企業 ・インド経済の発展と成長に関連し、収益のかなりの部分をインド国内の活動から得ている、インド以外の国の企業
投資対象有価証券	<ul style="list-style-type: none"> ・インドの証券取引所(ボンバイ証券取引所、ナショナル証券取引所)に上場あるいはその他の取引所または取引所に準ずる市場で取引されている投資対象企業の株式 ・投資対象企業のADR(米国預託証券)やGDR(グローバル預託証券) <ul style="list-style-type: none"> ※預託証券とは、ある国の会社の株式を海外でも流通させるために、当該株式を銀行等に預託し、その見合いに海外で発行される証券のことをいいます。 ・投資対象企業のオプションを表示する証券または証券等 <ul style="list-style-type: none"> ※Participatory Note(P-Note)を組み入れます。P-Noteとは、金融業者(銀行、証券会社等)が投資対象国外で発行する証券で、投資対象国の特定の株価に連動します。

- ▶ 株式の実質組入比率は、原則として高位に維持します。
- ▶ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

2. S&P/IFC Investable India*(円ベース)をベンチマークとして、中長期的に当該インデックスを上回る投資成果を目指します。

* S&P/IFC Investable Indiaとは、インドの非居住者がインド株式への投資を行うことを前提として、時価総額、流動性や非居住者に対する各種投資制限(個別株、業種等)等を考慮し算出された時価総額加重平均インデックスです。当ファンドのベンチマークとしては、同指数を委託会社が円換算した数値を使用しています。

3. HSBCグローバル・アセット・マネジメント(香港)リミテッドが運用を行います。

- ▶ 運用委託契約に基づいて、HSBCグローバル・アセット・マネジメント(香港)リミテッドに、マザーファンドの運用の指図に関する権限を委託します。
 - ※運用の指図に関する権限の委託を中止または委託の内容を変更する場合があります。
- ▶ HSBCグローバル・アセット・マネジメントに加え、HSBCグループ内の情報ソースを活用します。

市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

<分配金に関する留意点>

- ▶ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ▶ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ▶ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

設定・運用:HSBC投信株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC インド株式ファンド(3ヶ月決算型)

追加型投信/海外/株式

当ファンドの主なリスク

投資信託は**元本保証のない金融商品**です。また、投資信託は**預貯金とは異なることにご注意ください**。当ファンドは、主に値動きのある外国の有価証券を実質的な投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの**運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します**。

株価変動リスク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。
信用リスク	株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。
為替変動リスク	外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。
流動性リスク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。
カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引等に関する規制の変更や新たな規制が設けられた場合には、投資方針に沿った運用が困難になることがあります。新興国市場は、一般的に先進諸国の市場に比べ、市場規模が小さいことなどから、上記の各リスクが大きくなる傾向があります。
税制変更リスク	インド株式等への投資部分に対しては、インドの税制に従って課税されます。インドにおいては非居住者による1年未満の保有有価証券の売買益に対してキャピタル・ゲイン課税が適用されております。将来、税率、課税方法の変更、および新たな税制が適用された場合には、基準価額に影響を与える可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※上記のリスクをご理解いただき、投資の判断はご自身でなさいますようお願い申し上げます。

【留意点】

- 当資料はHSBC投信株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、主に値動きのある有価証券(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は組入有価証券の値動き、為替変動による影響を受けます。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用成果(損益)はすべて投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。当ファンドの購入のお申込みに関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(クーリング・オフ)の適用はありません。
- 購入のお申込みにあたりましては、投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)を販売会社からお受取りの上、十分にその内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社: HSBC投信株式会社 <照会先>  電話番号 03-3548-5690  ホームページ www.assetmanagement.hsbc.com/jp
(受付時間は営業日の午前9時~午後5時)

投資顧問会社
(運用委託先): HSBCグローバル・アセット・マネジメント(香港)リミテッド

受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社: 委託会社の<照会先>でご確認いただけます。

※ 販売会社固有情報(金融商品取引業者(登録番号)、加入協会等)については、当資料内「お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求ををご覧ください。販売会社は、投資信託説明書(交付目論見書)の提供場所になります。

設定・運用: HSBC投信株式会社

HSBC インド株式ファンド(3ヶ月決算型)

追加型投信/海外/株式

お申込みに関する要項

お申込みメモ

購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目以降に販売会社でお支払いします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
申込受付不可日	日本国内の営業日であっても、インドの証券取引所(ボンベイ証券取引所、ナショナル証券取引所)、香港の証券取引所の休場日のいずれかに該当する場合には、購入および換金の申込受付は行いません。
購入・換金の申込受付の中止および取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金の申込受付の中止および取消しを行う場合があります。
信託期間	無期限(信託設定日:2007年9月14日)
繰上償還	ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には、信託を終了させる場合があります。
決算日	毎年3月、6月、9月、12月の各10日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年4回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。分配金の受取方法により、分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。原則として、収益分配金、換金時および償還時の差益に対して課税されます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
その他	基準価額(1万口当たり)は、翌日の日本経済新聞朝刊に「分配インド株」の略称で掲載されます。

当ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入時にご負担いただきます。購入金額に、 3.78%*(税抜3.50%) を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。 *消費税率が10%に引き上げられる場合は、3.85%になります。	商品内容の説明ならびに購入手続き等にかかる費用
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.50% の率を乗じて得た額(換金時)	換金される投資者に換金で生じるコストを一部負担していただくものです。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	年2.16%*(税抜年2.00%) *消費税率が10%に引き上げられる場合は、年2.20%になります。	ファンドの日々純資産総額に信託報酬率を乗じて得た額とします。ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。
(委託会社)	税抜年1.20%	ファンドの運用等の対価(運用委託先への報酬が含まれます。)
(販売会社)	税抜年0.70%	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	税抜年0.10%	運用財産の管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
その他費用・手数料	ファンドの保有期間中、その都度ファンドから支払われます。 ・有価証券売買委託手数料/保管銀行等に支払う外貨建資産の保管費用/信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用等 ・振替制度にかかる費用/印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用/監査法人等に支払う監査報酬等(純資産総額に対し上限年0.20%として日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎年3月および9月に到来する計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。) ※その他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率等を記載することができません。	

※ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

